

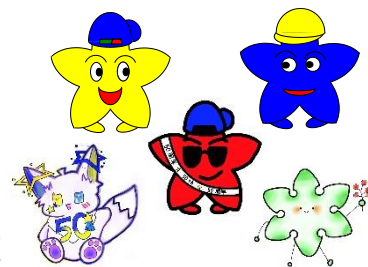
【学校教育目標 自ら創る】



忠別川

【重点】自ら道を切り拓く子

◎見通し、考えを深め、学びを創り出す ◎対話と協働でよりよい解決を目指す ◎失敗から学び、改善し、やり抜く
旭川市立東光小学校令和8年度 学校だより第6号 9月30日（水）



50周年記念キャラクターが仲間入り！

冬が来るなら…

校長 加藤 広章

先週、とうとう秋分の日を迎えました。個人的には、とても憂鬱です。

なぜなら、この日を境に、夜の時間がどんどん長くなっていくからです。そして、その先に待っているものは……そう、冬です……。

想像するだけで滅入ってしまいます。

たいていの人は、自分にとって苦手なことや嫌なこと、憂鬱なことに会えると、暗い気持ちになってしまうものです。先ほどの秋分の日の話で言えば、「この日を境に冬にまっしぐら……」と考えるだけで、身震いしてしまいます。

ただ、そのことばかりにとらわれていると、なかなかそこから抜け出せず、憂鬱な気持ちを引きずったまま毎日を過ごすことになります。

それよりも、「ちょっとでも、ましにできないか」と考えを巡らせてみるのが大切なのではないでしょうか。そうすることで、ものの見方や考え方が変わり、気持ちを切り替えるきっかけが生まれます。

例えば、私の場合なら……

冬は嫌い！ …でも、ちょっとでも、ましにできるとしたら……

↓

そういえば…秋はとても心地よい季節だよなー

↓

なら…冬が来る前に秋を思いっきり楽しんじゃえ！

↓

さて、何をしようかな！



もちろん、全てがこんな具合にうまくいくとは限りません。

それでも、追い込まれたり、つらいと感じたりしているときほど、一旦深呼吸をして、いろいろな視点から考えてみるのが大切なのだと思います。

冬が来ることは変えられません。でも、冬が来るまでの過ごし方は、自分で変えることができます。

さて、今年の秋は何を楽しもうかな！

児童の心と体を育む様々な教育活動・環境づくり

【百寿大学との交流（3年総合的な学習の時間）】

9月9日に、東光公民館で百寿大学の皆さんと交流会を行いました。総合的な学習の時間「日本の遊びワールドへいっちゃい！」の学習の一環で昔遊び体験をしました。当日は、めんこ、あやとり、コマ回しなど百寿大学の方々の温かい関わりにより、遊びがどんどん上手になりました。子どもたちは日本の昔遊びのよさを学びました。



【体力向上週間の取組】

9月14日～18日の中休みに、グラウンドを走りました。今年は走る際にBGMを流すことで気持ちよく走ることができました。子どもたちは、自分で決めた目標周回に仲間と笑顔で挑戦していました。



10月の行事予定

日	曜	行 事 予 定
1	木	通5 全校集会⑤(後期開始)
2	金	学芸会特別時間割開始
3	土	
4	日	
5	月	SC来校
6	火	旭川市教育研究大会
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	スポーツの日
13	火	
14	水	
15	木	通6 係児童活動①
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	通6 係児童活動②
21	水	特6 学芸会児童公開日
22	木	
23	金	通6 係児童活動③ 学芸会準備作業
24	土	学芸会
25	日	
26	月	振替休業日
27	火	学芸会後片付け(職員)
28	水	職場体験受け入れ(東明中) 読み聞かせボランティア秋のイベント
29	木	委員会⑥
30	金	特6 英検ESG(6年)
31	土	

【東明中との交流 中学3年生の合唱を見学(6年生)】

9月11日に小中交流学习が行われ、6年生が東明中学校3年生の学校祭に向けた合唱練習を見学しました。

響き渡る綺麗な歌声と堂々とした姿に、6年生は胸を打たれたようです。「自分たちもこんな中学生になりたい」という具体的な目標をもつとともに、間近に迫った自分たちの学芸会に向けて「自分たちも頑張るぞ」という気持ちを新たにしていました。

【着衣泳に挑戦(6年生)】

今年度のプール授業の終わりに着衣泳を行いました。衣服を着て水に入るとどのような状況になるかを体験し、不意に水に落ちたときでも、自分の命を守るために、どのような対処をしたらよいかを学ぶのがねらいです。参加した6年生からは「衣服がすごく重かった。」「衣服を着ると浮くのが難しかった。」という言葉が聞きました。実際に体験することで充実した学びになりました。

【学びルームを開室しました！】

児童の自発的な探究心や多様な学びを個別に保障し、遊びや体験を通じた異学年交流、心身のリフレッシュができる安心の居場所（サードプレイス）として「学びルーム」を開室しました。室内（旧パソコン室）は目的別に大きく3つのエリアに分かれています。

「理科ゾーン」：顕微鏡や天体望遠鏡などに自由に触れられる空間「算数ゾーン」：パズルや積み木で直接触れて学べる空間、「コミュニケーションゾーン」：ボードゲームなどを通して学年を超えて楽しく交流できる空間、休み時間の利用や個別学習などでも利用し、子どもたちがワクワクしながら過ごせる場を目指します。